

ムック企画書

中国人観光客 ウェルカムマニュアル（仮）

中国人のトリセツ（仮）

（日本語版・中国語版・電子ブック版）

体裁：A5 変形判（ミシュランガイド東京と同サイズ）／平綴／カバーなし
／表紙 4C+口絵 2C
頁数：144 ページ

企画提案
有限会社ラップ 土屋幸仁
新宿区新宿 1-12-15
サンサーラ第四御苑 901
TEL：03-5360-7472

<企画背景>

経済発展著しい中国。都市部の所得は急増し日本へもツーリストが押し寄せている。北京、上海、香港、マカオやシルクロード、桂林へ日本人が大挙押し寄せたひと頃とは、真逆の状態にあるわけだ。

中国人といえば、人目もはばからず道端にタンを吐き、朝食バイキングで散々食い散らかし、ところ構わずはしゃぎまわり大声でまくしたててしゃべくり倒す、ありがた迷惑な人たちでもある。時間感覚はラテン系だし、行列があれば横から割り込む。異国の地で群れた時の彼らの傍若無人な振る舞いは、大阪のオバチャンもびっくりなのだ。

しかし、だからといって、無視を決め込んだり“中国人ノーサンキュー”を声高に叫ぶほど、強硬な態度は取れない。なぜなら、外貨をふんだんに落して行ってくれる彼らは、財布のひもが硬い欧米のツーリストより、観光立国を目指す日本にとっては大事なお客さまなのだから。しかも 2009 年より個人観光ビザが富裕層に限って発給されたのに続き、2010 年 7 月 1 日よりビザ発給要件がさらに大幅緩和され、クレジットカード会社のゴールドカード所有者なら発給されるようになった。その流れを受けて、中国の激安航空会社は日本各地の空港に定期便を飛ばすようになり、徳島県では先進の糖尿病検診ノウハウを活かし中国へ医療ツアーを売り込んでいる。そして何より、中国人ツーリストを満杯に詰め込んだ観光バスが、昨年から都内各所で一挙に急増中で、旅館や家電量販店店員のみならず、我々市民が街角で彼らと接触する機会が、大いに増えそうである。

中国人ツーリストの横暴な振る舞いや思考回路は、世界各国が眉を潜めている。現にイギリス在住の日本人は、老人を突き飛ばしてまで行列に割り込む中国人観光客のおかげで、「日本人のマナーはいつからこんなに悪くなったのだ!」と、イギリス人から迫害を受けている（英国人には日本人と中国人の違いがわからないため）。生活様式、文化の違い、お国柄や人柄、そして何より中華思想が、品格を問われる振る舞いとなっている。それをとがめようものなら、悪いと思っても絶対に頭は下げない。このままでは、日中間の新たなひずみが日本各地で生まれかねない。「小事は大事」という言葉もある。手遅れになる前に、中国人観光客との正しい接し方と、彼らの思考回路を理解しておかねば、大変な問題に発展しかねない。

中国の文化と中国人の思考法、そして日本とのお国柄の違いを知ることで、少しでも摩擦が避けられないだろうか？ 本書が目指すのは、今後確実に増え続ける中国人観光客を「ウェルカム」できるよう、しっかり準備を整えるマニュアル。中国との軋轢解消のヒントが、この本にはきっとある。

<企画内容>

中国人観光客が各地で巻き起こした実際のトラブルや、留学生や在留中国人から日本に来て驚いたこと、困ったこと、逆に中国では考えられない親切を受けた出来事など、中国との大きな違いなどを拾い上げ、各問題の根源となっている中国文化をあぶり出すことで対処法を考察する。

その一方で、傲慢で客商売に向かないと言われた中国人のアルバイト店員（コンビニやスーパーなど）の、日本人店員以上に見せる気遣いも併せてふれることで、中国人の対人・対日意識の変化について考察を加えるページも設けたい。

<構成案>

彼らはどんな人たち？

中華思想を勉強しよう

中国人の行動パターン

中国人の心の琴線に触れるもの

観光立国に学ぼう——観光先進国タイでの実例

こんな摩擦・問題は想定範囲内

ウェルカムマニュアル初級編（一般人向け）

ウェルカムマニュアル上級編（飲食店、家電量販店などの店員・販売員向け）

これだけはやっちゃダメ！中国人逆鱗マニュアル

国際問題に発展しない上手な注意の仕方

中国人から見た日本人——中国人脳を養う

留学生の変貌ぶりを見る中国人の変化

<中国販売について>

「人的素質をはじめとするソフト面は100年の差がある」「日本の清潔さは、全面的な環境保護活動に科学技術が加わり、そこへさらに日本人の素養が重なって実現しているものであり、中国が真似しようとしても出来ないものだ」

これは、日本に個人旅行に来た中国人が、ブログで書いている感想だ。「日本への感情的なわだかまりが拭いきれない中国人のひとり」と前置きして書かれていることから、単なる親日家の日本礼賛ではないことがわかる。

中国人も少なからず、自分たちのマナーや世界から向けられる視線を気にし始めている。日本人が感じた中国人観光客の「困った」や、中国人が体験した日本でのカルチャーショックは、これから日本観光を訪れようとする中国人にとっては、観光ガイドブックでは得られない貴重な予備知識になるはずである。

本書の展開のひとつとして、中国語版の販売（空港などでの販売や中国国内での販売）も考えられるだろう。

<取材対象>

高校、大学の中国人留学生生活指導担当

中国人向け留学斡旋業者

中国人留学生

<監修者候補>

鄭麗芸（椋山女学園大学文化情報学部教授） 著書「目からウロコの日中比較文化論——ことば・文化・芸術」